

7月市長定例記者会見

日時：令和4年7月11日（月） 午前9時30分
場所：掛川市役所5階 全員協議会室

1 開 会

2 市長話題提供

- (1) 令和4年度市民意識調査の集計結果 【企画政策課】 資料1-1
- (2) 学校再編計画の策定に向けた市民意見交換会 【教育政策課】 資料1-2
- (3) 地区集会「かけがわまちづくりミーティング2022 & 地元ミーティング」開催
【生涯学習協働推進課】 資料1-3
- (4) 広報戦略担当の就任について 【広報・シティプロモーション課】 資料1-4

3 報告事項

- (1) 上西郷地区整備推進事業 事業着手 【基盤整備課】 資料2-1
- (2) 市内9中学校共通制服導入へ向けた検討をスタート 【教育政策課】 資料2-2

4 情報提供（主な行事について）

- (1) 第5回新廃棄物処理施設整備検討委員会 【環境政策課】 資料3-1
と き：7月16日（土）
ところ：環境資源ギャラリー 大会議室
- (2) 松ヶ岡保存活用工事現地説明会 【文化・スポーツ課】 資料3-2
と き：7月23日（土）午前10時30分 午後1時
ところ：松ヶ岡（南西郷838）
- (3) 移住等促進拠点「JOKA-BASE(ジョカベース)」オープニングセレモニー
【広報・シティプロモーション課】 資料3-3
と き：8月1日（月）午前10時から
ところ：KAKEGAWA-JOKABASE（市内緑町）
- (4) シュート！舞台めぐりデジタルスタンプラリー開催
【広報・シティプロモーション課】 資料3-4
と き：7月27日（水）午前10時から
ところ：市内各所

(5) 新たなチャレンジ「かけがわチャ（茶）レンジ号」

自動運転車両の実証事業開始に伴う出発式の開催について【DX 推進課】資料 3 - 5

と き：8 月 1 日（月）午後 4 時

ところ：三の丸広場

5 議会日程

全員協議会 7 月 22 日（金） 午前 9 時～

6 質疑応答（進行：幹事社 SBS・朝日新聞）

7 閉 会

8 月市長定例記者会見 令和 4 年 8 月 10 日（水）午前 9 時 30 分～ 全員協議会室

令和4年度市民等意識調査の集計結果 ～掛川市が住みやすいと感じる市民 77.0%～

【目的・概要】

令和4年度市民意識調査及び高校生意識調査の集計結果の概要について報告します。

「第2次掛川市総合計画」の推進にあたり、掛川市民が掛川市の現状をどう感じているか、また、掛川市の様々な施策について、何に満足し何が不満なのかを把握し、さらなる市民サービスの向上と着実な行政運営に繋げるため、アンケート調査を実施しました。

併せて、高校生の進路に対する意識や理想の家族像などに関する意識を把握し、人口減少、人口流出に関する施策などを推進するため、高校生を対象とした意識調査を実施しました。

【アピールポイント】

- ・掛川市が住みやすいと思う市民の割合 77.0%（前年比 1.3 ポイント減少）
- ・浜岡原子力発電所の今後について
 - 「廃炉」もしくは「停止」と回答した割合 36.1%（前年比 8.5 ポイント減少）
 - 「安全が確認できれば稼働したほうが良い」と回答した割合 32.9%
（前年比 3.8 ポイント増加）

1 市民意識調査

- (1) 調査対象：市内在住の18歳以上の市民の中から2,500人を抽出
- (2) 調査期間：令和4年4月27日～令和4年5月12日
- (3) 調査方法：郵送により発送・回収

2 高校生意識調査

- (1) 調査対象：市内の4つの高等学校に在席する3年生
- (2) 調査期間：令和4年5月12日～令和4年5月26日
- (3) 調査方法：各高校経由で配布・回収

3 資料の添付 有 ・ 無（「市民意識調査報告書」、「高校生意識調査報告書」）

■本件に関する担当者

企画政策課地域創生戦略室経営戦略係 西村・雪山（電話 0537-21-1127）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

I 市民意識調査の結果

1 回収状況

1, 170枚 (回収率 46.8%)

年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
配布数	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
回収数	1,173	1,014	1,368	1,349	1,170
回収率	46.9%	40.6%	54.7%	54.0%	46.8%

※有効回答のみ

【年代別の回収状況】

	配布数 (通)	構成比 (%)	回収数 (通)	回収率 (%)
18歳以上20歳未満	88	3.4	17	19.3
20歳代	402	16.1	122	30.3
30歳代	402	16.1	169	42.0
40歳代	402	16.1	160	39.8
50歳代	402	16.1	181	45.0
60歳代	402	16.1	244	60.7
70歳代以上	402	16.1	262	65.2
無回答	0	0	15	-
計	2,500	100.0	1,170	46.8

2 結果概要 ※詳細は、別冊「市民意識調査報告書」をご覧ください。

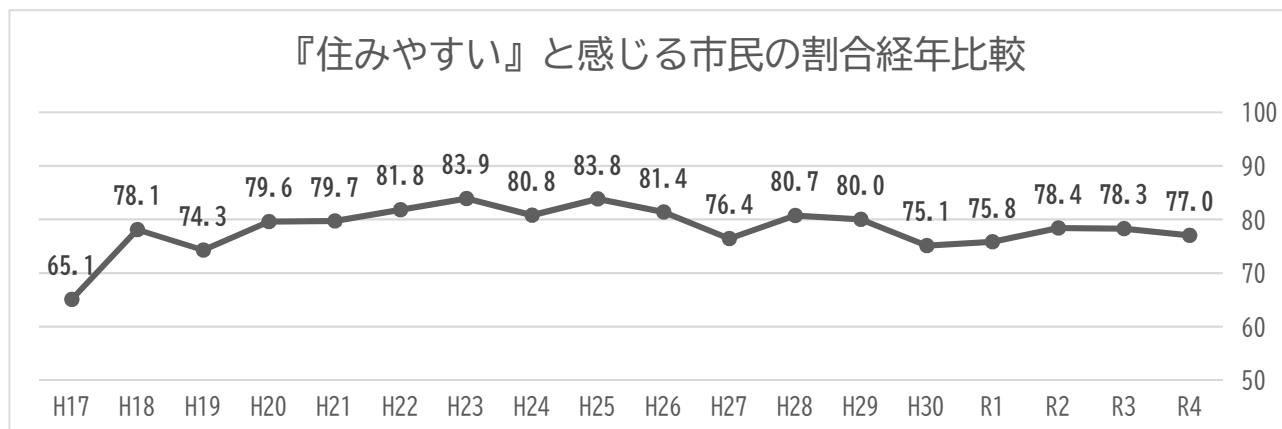
(1) 掛川市の住みやすさについて (報告書：9ページ)

①住みやすさの割合

掛川市が住みやすいと思う市民の割合は77.0%で、前年と比べて1.3ポイントの減少となりました。中学校区別では、掛川区域が70%~80%台、大東区域がおおむね70%、大須賀区域では50%台となり、南部地域において、住みやすさを実感していない方の割合が多い結果となっています。

【参考：平成17年度以降の経年変化】

(%)



※「とても住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した割合を合算

【中学校区別住みやすさの割合】

(%)

	東	西	栄川	北	原野谷	桜が丘	大浜	城東	大須賀
R 4	82.0	87.5	77.3	79.7	71.4	80.3	71.8	67.6	51.4
R 3	81.8	85.3	82.9	87.5	78.9	79.1	70.0	69.3	52.1
前年比	0.2	2.2	△5.6	△7.8	△7.5	1.2	1.8	△1.7	△0.7

②住みやすさの理由

住みやすさの理由としては、「新幹線の駅や高速道路のインターチェンジなど広域交通のアクセスの便がよい」が59.9%と最も多く、次いで「気候が温暖」が56.8%という結果でした（3つ以内で回答、上位3項目を記載）。

「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人・・・901人

選 択 肢	件数	比率	前年比
1. 新幹線の駅や高速道路のインターチェンジなど広域交通のアクセスの便がよい	540件	59.9%	0.5
2. 気候が温暖	512件	56.8%	△1.5
3. 自然が豊か	456件	50.6%	△4.6

※複数回答あり

③住みにくさの理由

住みにくさの理由としては、「買い物場所やレクリエーション施設が充実していない」が44.9%で最も多く、次いで「地域内のバス路線などの公共交通網が整備されていない」が41.4%という結果でした（3つ以内で回答、上位3項目を記載）。

「とても住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人・・・227人

選 択 肢	件数	比率	前年比
1. 買い物場所やレクリエーション施設が充実していない	102件	44.9%	0
2. 地域内のバス路線などの公共交通網が整備されていない	94件	41.4%	△5.0
3. 広域交通のアクセスの便がよくない	70件	30.8%	△7.3

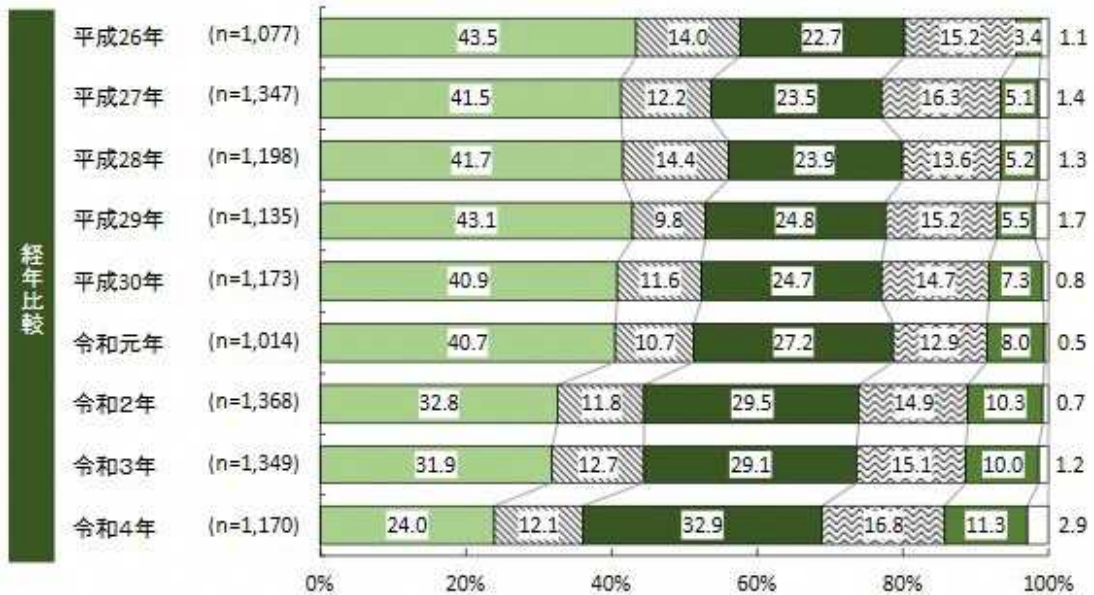
※複数回答あり

(2) 浜岡原子力発電所の今後について（報告書：14 ページ）

浜岡原子力発電所の今後については、「安全が確認できれば稼働したほうがよい」が32.9%で最も多く、調査開始以降、初めて「廃炉にしたほうがよい」を上回りました。ただし、「廃炉にしたほうがよい」と「停止しておいたほうがよい」を合わせると36.1%となり、「安全が確認できれば稼働したほうがよい」とやや上回りました。

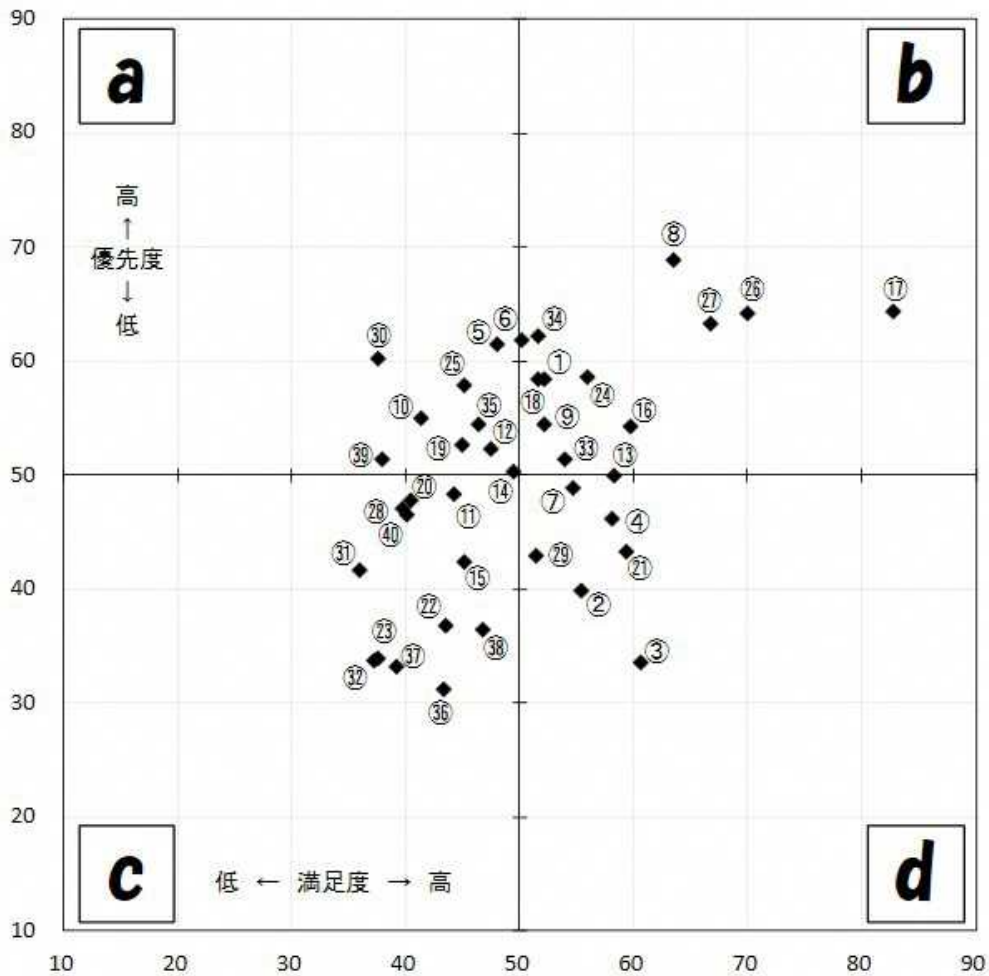
項目\年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	前年比
廃炉+停止	59.7	57.5	53.7	56.1	52.9	52.5	51.4	44.6	44.6	36.1	△8.5
廃炉	42.8	43.5	41.5	41.7	43.1	40.9	40.7	32.8	31.9	24.0	△7.9
停止	16.9	14.0	12.2	14.4	9.8	11.6	10.7	11.8	12.7	12.1	△0.6
安全が確認 できれば稼働	24.0	22.7	23.5	23.9	24.8	24.7	27.2	29.5	29.1	32.9	3.8
どちらとも いえない	12.5	15.2	16.3	13.6	15.2	14.7	12.9	14.9	15.1	16.8	1.7
わからない	3.2	3.4	5.1	5.2	5.5	7.3	8.0	10.3	10.0	11.3	1.3
無回答	0.6	1.1	1.4	1.3	1.7	0.8	0.5	0.7	1.2	2.9	1.7

■ 廃炉にしたほうがよい ■ 停止しておいたほうがよい
■ 安全が確認できれば稼働したほうがよい ■ どちらともいえない
■ わからない ■ 無回答



(3) ポートフォリオ分析によるプロジェクトの市民ニーズ（報告書：16 ページ）

重要プログラムの満足度と優先度を点数化して偏差値を算定し、縦軸に優先度、横軸に満足度をとってグラフ化しました。座標の原点は、満足度と優先度の平均値としています。



ポートフォリオ分析表

① 満足度が低く、優先度が高い施策：aゾーン

サービスの水準が低く、優先度が高いことから、不満の解消に向けて積極的に投資すべき施策

個別施策	満足度	優先度
⑤ 子育てしやすい環境の整備	48.1	61.5
⑩ 障がいのある方の幸せな暮らしの支援の充実	41.3	55.1
⑫ 省エネ・省資源、再生可能エネルギーの普及	47.5	52.4
⑭ 美しい森林や海岸等の保全と防災機能等の多面的な活用	49.5	50.3
⑰ 商工業の更なる発展	45.0	52.6
⑳ 災害に強い住宅や都市基盤施設等の整備	45.1	57.8
㉓ 交通弱者の移動手段の確保	37.6	60.2
㉕ 安全確保と長寿命化に向けた道路施設の維持管理	46.4	54.5
㉙ 健全で計画的な行政経営	38.0	51.5

②満足度・優先度ともに高い施策：bゾーン

サービスは一定の水準に至っているが、優先度が高いことから、積極的に現状維持すべき施策

個別施策	満足度	優先度
① 市民総ぐるみで取り組む子どもの育成	52.2	58.5
⑥ 安心して出産・子育てできる環境の整備	50.2	61.9
⑧ 誰もが安心して医療を受けられる環境の整備	63.5	69.0
⑨ 高齢者が生き生きと暮らせる環境づくり	52.2	54.5
⑬ 誰もが集える身近な公園・緑地が充実	58.2	50.1
⑯ 快適に暮らせる生活環境の確保	59.7	54.3
⑰ 安全な水の安定した供給	82.7	64.3
⑱ 雇用・就業の環境の整備	51.6	58.4
⑳ 自助・共助・公助による防災・減災対策の強化	56.0	58.5
㉒ 消防救急体制の充実による被害を最小限に食い止める環境	69.9	64.1
㉓ 交通安全と防犯の意識向上と環境整備	66.7	63.2
㉔ 渋滞の無い快適な道路交通が確保	53.9	51.4
㉕ 歩行者も車も安全に通行できる生活道路の整備	51.6	62.1

【満足度のランキング（上位10位）】

	満足度
第1位	⑰ 安全な水の安定した供給
第2位	㉒ 消防救急体制の充実による被害を最小限に食い止める環境
第3位	㉓ 交通安全と防犯の意識向上と環境整備
第4位	⑧ 誰もが安心して医療を受けられる環境の整備
第5位	③ 郷土の文化の保存と文化芸術活動の振興
第6位	⑯ 快適に暮らせる生活環境の確保
第7位	㉑ 「掛川茶」のブランド化と「掛川茶」を楽しむ環境
第8位	⑬ 誰もが集える身近な公園・緑地が充実
第9位	④ スポーツを楽しめる環境の整備
第10位	㉔ 自助・共助・公助による防災・減災対策の強化

【優先度のランキング（上位10位）】

	優先度
第1位	⑧ 誰もが安心して医療を受けられる環境の整備
第2位	⑰ 安全な水の安定した供給
第3位	㉒ 消防救急体制の充実による被害を最小限に食い止める環境
第4位	㉓ 交通安全と防犯の意識向上と環境整備
第5位	㉕ 歩行者も車も安全に通行できる生活道路の整備
第6位	⑥ 安心して出産・子育てできる環境の整備
第7位	⑤ 子育てしやすい環境の整備
第8位	㉓ 交通弱者の移動手段の確保
第9位	㉔ 自助・共助・公助による防災・減災対策の強化
第10位	① 市民総ぐるみで取り組む子どもの育成

II 高校生意識調査の結果

1 回収状況

763 枚 回収（回収率 92.6%）

2 結果概要 ※ 詳細は、別冊「高校生意識調査報告書」をご覧ください。

(1) 高校卒業後の進路について（報告書：8 ページ）

高校卒業後の進路に関して調査したところ、「県外の大学・専門学校等へ進学したい」が 39.3%（前年 42.0%）でもっとも多く、全体の 68.1%（前年 70.4%）が進学を希望しています。

あわせて、進学後の進路に関する調査したところ、「県外で就職したい」が 45.8%（前年 48.5%）、「掛川市以外の県内で就職したい」が 29.4%（前年 22.6%）、「出身市町・今住んでいる市町（掛川市以外）に就職したい」が 12.1%（前年 16.3%）、「掛川市内で就職したい」が 10.0%（前年 10.0%）となりました。

掛川市以外での就職を希望した理由については、「都会で働きたい」が 32.7%（前年 35.5%）、「掛川市に自分が就きたいと思う仕事がない」が 24.6%（前年 25.0%）となりました。（2つ以内で回答）

【高校卒業後の進路】

選択肢	件数	比率
1. 県内の大学・専門学校等へ進学したい	220	28.8%
2. 県外の大学・専門学校等へ進学したい	300	39.3%
3. 掛川市内に就職したい	45	5.9%
4. 出身市町・今住んでいる市町（掛川市以外）に就職したい	35	4.6%
5. 掛川市以外の県内に就職したい	47	6.2%
6. 県外で就職したい	9	1.2%
7. まだ考えていない・特に決まっていない	32	4.2%
無回答	75	9.8%
計	763	100%

【卒業後の進路】

「県内の大学・専門学校等へ進学したい」、「県外の大学・専門学校等へ進学したい」と回答した人…520人

選択肢	件数	比率
1. 掛川市で就職したい	52	10.0%
2. 出身市町・今住んでいる市町（掛川市以外）に就職したい	63	12.1%
3. 掛川市以外の県内で就職したい	153	29.4%
4. 県外で就職したい	238	45.8%
5. 外国で就職したい	11	2.1%
無回答	3	0.6%
計	520	100%

(2) 掛川市に住みたい理由について（報告書：12 ページ）

掛川市に住みたいと回答した人は 137 人（18.0%）で、住みたい理由は、「掛川市が一番住みやすいと思う」が 59.9%（前年 53.1%）と最も多く、次いで「新幹線掛川駅や高速道路インターチェンジ等があり便利だから」が 18.2%（前年 14.2%）、「掛川市に自分が就きたいと思う仕事がある」が 15.3%（前年 13.0%）でした（理由は2つ以内で回答）。

【掛川市に住みたい理由】

「掛川市に住みたい」と回答した人…137人

選択肢	件数	比率
1. 長男または長女で、家を継がなければならない	3	2.2%
2. 親と一緒に住みたい（親の面倒をみる必要がある）	17	12.4%
3. 友人から離れたくない	12	8.8%
4. 掛川市が一番住みやすいと思う	82	59.9%
5. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事がある	21	15.3%
6. 新幹線掛川駅や高速道路インターチェンジ等があり便利だから	25	18.2%
7. その他	15	10.9%
無回答	0	0.0%
計	137	-

※複数回答

(3) 理想の家族像について（報告書：13 ページ）

結婚については、「はい」が81.0%（前年 83.0%）と高く、また、子どもについても「欲しい」が77.6%（前年 80.3%）と高い割合となりました。

理想の家族像としては、「自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む」が45.2%（前年 46.7%）となりました。次いで「自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親の近くに住む」が29.5%（前年 27.8%）で、二世代の核家族を理想とする意見が7割を占めました。

【将来結婚したいか】

選択肢	件数	比率
1. はい	618	81.0%
2. いいえ	138	18.1%
無回答	7	0.9%
計	763	100.0%

【将来子どもがほしいか】

選択肢	件数	比率
1. 欲しい	592	77.6%
2. 欲しくない	164	21.5%
無回答	7	0.9%
計	763	100.0%

【理想とする家族の形態】

選択肢	件数	比率
1. 一人暮らし	110	14.4%
2. 自分たち夫婦の二人暮らし	57	7.5%
3. 自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む	345	45.2%
4. 自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親の近くに住む	225	29.5%
5. 自分または相手の親、自分たち夫婦、子どもの三世代で同居する	9	1.2%
6. その他	10	1.3%
無回答	7	0.9%
計	763	100.0%

(4) 二十歳の集い（旧成人式）と成年年齢の引き下げについて

令和4年4月からの成年年齢の引き下げに係り、二十歳の集い（旧成人式）への出席したいかについては、「出席したい」が75.9%、対して「出席したくない」が7.3%となりました。

成年年齢が引き下げられることに対する気持ちについては、「楽しみでもあり、不安にも思う」が56.4%、続いて「不安に思う」が21.5%、「楽しみに思う」が17.3%となり、7割が成年年齢の引き下げに対して、不安を感じているという結果となりました。

【二十歳の集いへ出席したいか】

選択肢	件数	比率
1. 出席したい	579	75.9%
2. 出席したくない	56	7.3%
3. わからない	109	14.3%
無回答	19	2.5%
計	763	100.0%

【成年年齢の引き下げへの気持ち】

選択肢	件数	比率
1. 楽しみに思う	132	17.3%
2. 楽しみでもあり、不安にも思う	430	56.4%
3. 不安に思う	164	21.5%
無回答	37	4.8%
計	763	100.0%

以上

学校再編計画の策定に向けた市民意見交換会 市として初めての市民向けの情報発信と意見交換

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【日時・場所等】

- | | | |
|---|-------|-------------------------------------------|
| 1 | と き | 令和4年7月25日(月)～9月5日(月) 各会場の日程は別添資料参照 |
| 2 | と ころ | 別添資料参照 |
| 3 | 主 催 | 掛川市・掛川市教育委員会 |
| 4 | 参 加 者 | 地区役員、保護者など約40人 |
| 5 | 内 容 | 学校再編についての説明、小グループごとのワークショップによる意見出しを行います。 |
| 6 | そ の 他 | |
| 7 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 |
| 8 | 資料の添付 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 |

【目的・概要】

小中学校の再編に向けて、再編の必要性について市民の理解の促進、再編計画に市民の意見を取り込むために、市内9中学校区ごとに開催します。

今回の意見交換会では、一般的な説明会方式はとらず、市民の皆さんから多くの意見を出していただくために、小グループ（5名＋職員1名）ごとにワークショップ形式で行います。

掛川市が小中学校の再編について、全市的に情報発信・意見を伺う場を設けるのは今回が初めてとなります。

【アピールポイント】

- ・学校再編については、市と地域住民、住民同士が「対話」を重ねながら一緒に検討を進めていくというスタンスで情報発信、意見交換を行っていきます。
- ・今回の意見交換会はそのための第一歩という位置付けです。
- ・新たな学校づくりに向けて、会場でどのような「対話」が交わされるのかにご注目ください。

掛川市記者会見資料 No.1 - 3

地区集会「かけがわまちづくりミーティング 2022&地元ミーティング開催」
～市民とともに、対話によるまちづくり～

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ **珍しい**

【目的・概要】

令和4年度地区集会として、「かけがわまちづくりミーティング 2022」と「地元ミーティング」を開催いたします。

「かけがわまちづくりミーティング 2022」は、多様な世代、立場の方との対話を通じて、これからの掛川市のまちづくりを考えるとともに、ファシリテーションを導入した対話を体験する場としても開催し、一市民としてまちづくりに参加する楽しさや“チャレンジ”する機運を育んでいくきっかけづくり（人材育成）として実施いたします。

「地元ミーティング」は、3年間開催できなかった地域と行政との直接対話をする機会をつくることで、ともに地域の課題や市の政策等についての意見交換を行い、市民主体のまちづくりの更なる発展を図ります。

【アピールポイント】

【かけがわまちづくりミーティング 2022】

- ・ YouTube を活用したウェブ配信を行い、意見交換を行う。
- ・ 多様な世代間の意見交換を行う場として開催（学生・子育て世代・地区役員世代参加予定）

【地元ミーティング】

- ・ 開催単位を地区単位から中学校区単位までの中で、地域が選択する。
- ・ 対話内容としてテーマは地区からの提案とする。
- ・ 4年ぶりの開催。

【かけがわまちづくりミーティング 2022】

- | | | |
|---|-------|---------------------------------------------------------------|
| 1 | と き | 令和4年7月30日(土) 午後1時30分～午後4時30分 |
| 2 | と ころ | 掛川市役所4階会議室1-ABC |
| 3 | 主 催 | 共催＝掛川市、掛川市地区まちづくり協議会連合会、掛川市区長会連合会 |
| 4 | 参 加 者 | 市長、教育長、副市長、地区まちづくり協議連合会長、地区区長会連合会長、ファシリテーター、中・高校生、ウェブ視聴者などを予定 |
| 5 | 内 容 | 1 開会
2 アイスブレイク |

- 3 市長あいさつ
- 4 ワークショップ
- 5 発表
- 6 閉会
- 6 その他 ウェブ配信は午後1時45分ごろ開始予定
- 7 駐車場 ・ 無 (場所) 市役所南側報道用駐車場
- 8 資料の添付 ・ 無 (資料名) かけがわまちづくりミーティング 2022

【地元ミーティング】

- 1 と き 令和4年8月～11月
- 2 と ころ ※地域により開催会場が異なる
- 3 主 催 共催＝掛川市、掛川市地区まちづくり協議会連合会、掛川市区長会連合会
- 4 参 加 者 市特別職、部課長、地区役員、オブザーバー（県議、市議等）、ファシリテーター（地区の選択制）
- 5 内 容 1 地区の課題や市政全般における意見交換の場として開催
2 「市内共通テーマ」と「自由テーマ」での対話を実施
- 6 駐 車 場 有 ・ 無 (場所) 開催会場により異なる
- 7 資料の添付 有 ・

■本件に関する担当者

生涯学習協働推進課 協働推進係 片山・田宮
自治活動支援係 藤原広・金子
(電話 0537-21-1129)

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★

「広報戦略担当（副業人材）」の就任について

令和4年7月からテレワークを中心に活動開始

【概要】

- ・「エン・ジャパン株式会社」の求人サイトを通じて全国公募したプロフェッショナル人材
- ・ 広報戦略官（任期付一般職）応募者 229 人の中から選考
- ・ 4 月から採用予定であったが、家族の事情によりテレワーク中心の広報戦略担当として令和4年7月1日付けで任用
- ・ 市役所への出勤とテレワークを組み合わせながら、平均して月4日程度の勤務を想定
- ・ 効果的な広報シティプロモーションを行うためのロードマップの策定
- ・ 「シュート!」「どうする家康」などコンテンツを活用したシティプロモーションの実施

【広報戦略担当 プロフィール】

広報戦略担当 林 映子（はやし あきこ）



1965年生まれ、石川県出身。56歳。外資広告代理店のクリエイティブディレクターとして複数の企業の広告やテレビCM制作に携わる。1999年、大手衛生用品メーカーに入社、広報室マネージャーやクリエイティブ開発部長を歴任。2019年に退社した後は、IPOを目指す中小企業のブランディング支援やベンチャー企業の広報ESG部部長としてSDGsや健康経営を推進。マーケティング戦略に基づくブランディングや広報戦略の立案、PR活動などの豊富な経験やスキルが特長。企画力を発揮しつつ、自らも制作・活動に携わるスタンスで、多くの実績を持つ。

■本件に関する担当者

行政課 熊切・深田（電話 0537-21-1133）

上西郷地区整備推進事業 事業着手 ～ 大規模事業用地の造成工事開始 ～

市内初 ・ 中東遠初 ・ **県西部初** ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【目的・概要】

「掛川市の新たな未来を切り拓くまちづくり 上西郷地区整備推進事業」について、事業協力者に決定している、株式会社日本エスコン 代表取締役 伊藤貴俊（東京都港区）と令和4年6月23日業務代行請負契約を締結し、7月より大規模事業用地の造成工事に着手します。

今後は、令和8年3月の完成を目指し造成工事を進め、進出企業の誘致についても株式会社日本エスコンと連携し進めてまいります。

【アピールポイント】

- ・長年実現できなかった本事業ですが、官民連携により、いよいよ本格的に事業着手となります。
- ・造成工事は清水建設株式会社が行います。これまでの経験や、最新技術を活用し、安全且つ高品質の施工を実施していただきます。
- ・株式会社日本エスコンの企業誘致のノウハウを最大限発揮し、掛川市の更なる発展に寄与する企業の誘致が期待できます。

【事業概要】

1 事業名称	掛川市の新たな未来を切り拓くまちづくり 上西郷地区整備推進事業
2 事業主体	掛川市土地開発公社
3 事業協力者	株式会社日本エスコン
4 工事施工者	清水建設株式会社
5 開発面積	約38.3ヘクタール
6 工事期間	45か月
7 資料の添付	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 （資料名：土地利用イメージ図）

■本件に関する担当者

基盤整備課（公社担当） 山田・佐次本（電話 0537-21-1315）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

市内9中学校共通制服導入へ向けた検討をスタート

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

※確認している事例はありません。

【目的・概要】

中学校の制服は各地域の伝統を大切に、長い年月に渡って受け継がれてきました。しかし、気候に応じた体温調整や多様な価値観の尊重など、現在の制服では十分な対応ができないこともあり、全国的に制服を見直す動きが生まれています。

掛川市においても、従来の制服を見直し、子どもや家庭にとってよりよい制服となることを目指して、この6月から検討を始めました。今後は、子どもや保護者、地域の皆様からの意見を聞きながら、具体的な制服を考えてまいります。

【アピールポイント】

市内9中学校統一の制服を検討中。学校単位ではなく、市内全中学校で共通の制服を導入するのは西部地区初（県内の事例は確認できず、初と考えられる）の取組。

1 新たな制服の具体的なビジョン

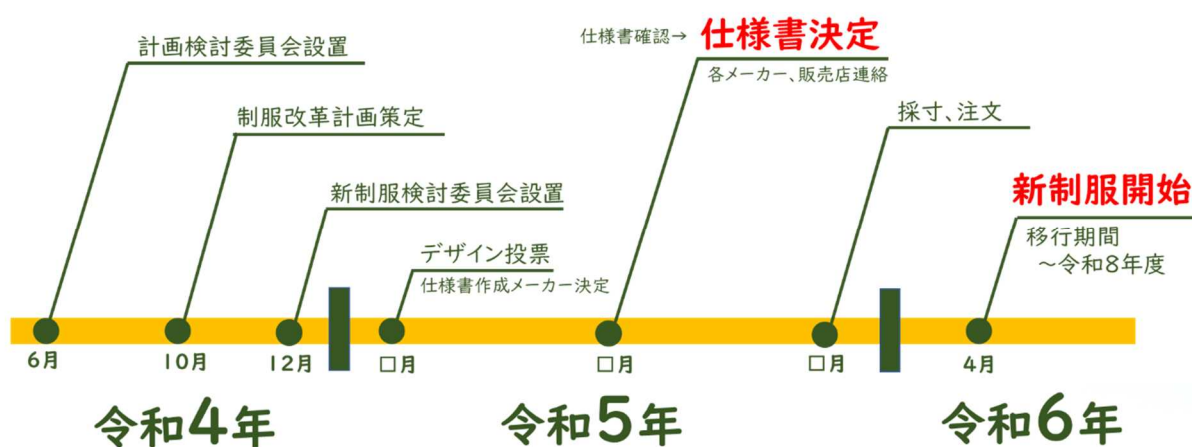
- 平成29年の公正取引委員会の調査結果によると、制服の仕様の共通化を行っている自治体の平均販売価格は、行っていない自治体の平均販売価格よりも安い傾向。9中学校でデザインを統一することで家庭の経済的負担を軽減することをねらう。
- 男女共通のデザインを導入することで、多様性を尊重する風土をつくる。
- 男女共通デザインの制服導入だけでなく、衣替えの時期や防寒具の着用ルールなどの各中学校の校則の見直しにつなげることで、生徒が自ら考え判断することができる力を育むことをねらう。
- 令和6年度に新たな制服が導入できるように、年度内に制服を見直す計画を策定し、具体的なデザインの検討に入る方向で検討中。
- 兄弟の制服を着用できるように、移行期間を設けるなどの現行制服の活用も検討。



第1回検討委員会で協議したイメージ例

2 具体的な検討スケジュール（案）

- 令和4年6月 第1回中学校制服あり方検討委員会
7月 販売店等に対する検討状況説明会
ホームページに特設ページ設置、検討状況の公開、意見フォーム設置
9月 第2回中学校制服あり方検討委員会
児童生徒、保護者アンケート実施
10月 第3回中学校制服あり方検討委員会
掛川市立中学校制服改革計画策定
令和5年1月 新たな制服検討委員会（仮称）設置
4月 新制服のデザイン投票
7月 新制服のデザイン決定
令和6年4月 新制服導入



第1回検討委員会で協議したスケジュール案

3 中学校の制服に関するアンケート結果

(1) 小学生保護者アンケート

ア 回答率 66.2%

イ 概要

- 冬服については、男子は詰襟とブレザーが半数ずつである。なお、女子はブレザーとセーラー服が半数ずつ占めている。また、約6割の女子生徒の保護者が、スカートとスラックスを選べることを望んでいる。
- 夏服については、男子はポロシャツ、女子はポロシャツやワイシャツを選べるとよいという回答が最も多く、それぞれ全体の4割を超える。スラックスとスカートについては、冬服と同様である。
- 重視することについては、男女共に全体の約6割が洗濯できることを挙げ、全項目中で最も多い。次点は、男子の保護者は耐久性、女子の保護者は夏の涼しさや冬の温かさであり、それぞれ約4割が挙げている。

(2) 中学生保護者アンケート

ア 回答率 62.9%

イ 概要

- ・機能性、デザインについては、全体の約2割の保護者が改善を希望しているが半数近くは肯定的な回答をしている。
- ・耐久性は全体の約7割が肯定的であり、改善を希望する声は1割に満たない。
- ・価格の改善を望む声は全体の約4割である。肯定的な回答は3割に届かない。
- ・冬服については、男子は詰襟を希望する保護者が全体の5割ともっとも多く、ブレザーを希望する保護者は全体の約4割である。なお、女子はブレザーとセーラー服が半数ずつである。また、約7割の女子生徒の保護者が、スカートとスラックスを選べることを望んでいる。
- ・夏服については、男子はポロシャツ、女子はポロシャツやワイシャツを選べるとよいという回答が最も多く、それぞれ全体の4割を超える。スラックスとスカートについては、冬服と同様である。
- ・重視することについては、男女共に全体の約6割が洗濯できることを挙げ、全項目中で最も多い。次点は、夏の涼しさや冬の温かさであり、女子生徒の保護者の半数近くが挙げている。

(3) 生徒アンケート

ア 回答率 85.6%

イ 概要

- ・機能性、デザインについては、全体の約2割の生徒が改善を希望しているが、半数以上は肯定的な回答をしている。
- ・耐久性は全体の約7割が肯定的であり、改善を希望する声は1割に満たない。
- ・価格の改善を望む声は全体の4割である。肯定的な回答は3割に届かない。
- ・冬服については、男子は詰襟を希望する生徒が全体の約7割ともっとも多く、ブレザーを希望する生徒は全体の約2割である。なお、女子はブレザーを希望する生徒が5割を超え、セーラー服を希望する生徒は約4割である。また、半数近い女子生徒が、スカートとスラックスを選べることを望んでいる。
- ・夏服については、男子はワイシャツがもっとも多く、全体の7割を超える。女子はポロシャツやワイシャツを選べるとよいという回答が最も多く、全体の4割を超える。スラックスとスカートについては、冬服と異なり、半数以上がスカートを選択している。
- ・重視することについては、男女共に全体の6割が夏の涼しさや冬の温かさを挙げている。次点は、男子が耐久性、女子は複数のアイテムから選べることを挙げている。また4割を超える女子生徒が着脱できる形状を求めている。

4 資料の添付 有 ・ 無 (資料名) HP 掲載用チラシ

■本件に関する担当者

教育政策課教育政策係 沢田・太田 (電話 0537-21-1109)

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★

「第5回新廃棄物処理施設整備検討委員会」の開催について

【目的・概要】

新たな廃棄物処理施設整備については、これまでに4回、検討委員会を開催し、安全安心で安定的な廃棄物処理施設の稼働に資する適切な意思決定が可能となるよう、検討を進めているところです。（3月21日（月・祝）第1回、4月24日（日）第2回、6月4日（土）第3回、6月26日（日）第4回）

今回、これまでの検討委員会での意見を踏まえ、「第5回検討委員会」を開催します。

第5回検討委員会

- 1 と き 令和4年7月16日（土）午後1時30分から
- 2 と ころ 環境資源ギャラリー 大会議室
- 3 主 催 掛川市・菊川市
- 4 そ の 他 会議は公開とします。新型コロナウイルス感染防止対策として、会場での傍聴は人数を制限して行います。
また、ライブ配信及び録画配信も行います



【掛川市公式ホームページ】

[URL:https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/kurashi/gomi/haikibutusyori/iinnkai/](https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/kurashi/gomi/haikibutusyori/iinnkai/)

なお、第5回検討委員会終了後、以下の日程で提言書の提出が予定されていますので、予めご予定いただき、当日は取材くださいますようお願いいたします。

○日時 7月24日（日）午前10時30分

○場所 掛川市役所5階庁議室

■本件に関する担当者

環境政策課 石山・伊藤（電話 0537-21-1145）



松ヶ岡保存活用工事現地説明会 ～ 専門家が松ヶ岡の特徴など解説 ～

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ **珍しい**

【目的・概要】

明治天皇の行在所（あんざいしょ。宿泊所）にもなった貴重な市指定有形文化財建造物、松ヶ岡（旧山崎家住宅）は、令和2年より大規模修復工事行われています。

現在は建物を保護するために主屋全体が足場で覆われ、屋根葺き替えや建物内部の荒壁工事が進んでいます。

ついては、工事の状況と成果を広く周知するため、現地において説明会を開催し、工事監理を担当する一般財団法人京都伝統建築技術協会が、専門的な見地から解説を行います。

【アピールポイント】

- ・ 通常の一般公開では工事区域は立入禁止ですが、工事現地説明会では、工事区域内に入って見学することができます。
- ・ 屋根瓦を近くで見たり、壁の内側の状況が見学できるなど、工事期間中しか見られない光景がご覧いただけます。
- ・ 専門家である京都伝統建築技術協会が、工事に伴う調査で明らかになった事実や復元箇所、工事において工夫した点などを解説します。

- | | | | |
|---|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 | と き | 令和4年7月23日(土) | 午前10時30分～、午後1時30分～
※各回1時間程度説明を行います |
| 2 | と ころ | 松ヶ岡（南西郷838） | |
| 3 | 主 催 | 掛川市文化・スポーツ振興課 | |
| 4 | 参 加 者 | どなたでも参加可能（小学生以下は保護者同伴）
参加無料。各回定員15名。7月8日(金)から申込受付中。先着順。 | |
| 5 | 内 容 | 専門家が工事の状況と成果を解説します。 | |
| 6 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> 無 （場所）松ヶ岡の駐車場をご利用ください。 | |
| 7 | 資料の添付 | 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 （資料名） | |

■本件に関する担当者

文化・スポーツ振興課

文化財係 山本・井村（電話 0537-21-1158）

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★

移住等促進拠点「JOKA BASE(ジ ョウカベース)」 オープニングセレモニー

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ **珍しい**

【目的・概要】

移住等促進拠点「JOKA BASE」は、信金中央金庫から寄付を受けた企業版ふるさと納税を活用した移住等促進整備事業補助金により、おためし移住体験や交流体験により関係人口・交流人口拡大につながる事業を展開する施設として、市内空き家対策に取り組む「NPO法人かけがわランド・バンク」が市内の既存建物をリノベーションして整備しました。

この度、3階宿泊施設（簡易宿所）のオープンに合わせて、「JOKA BASE」の周知を目的に関係者を集めてオープニングセレモニーを開催します。

【アピールポイント】

- ・ 3階簡易宿所を活用し、掛川への集客により関係人口・交流人口の拡大や中心市街地の活性化に期待する。
- ・ 掛川での暮らしを体験できるおためし移住体験を企画していく。

スケジュール

- 1 と き 令和4年8月1日(月) 午前10時～
- 2 と ころ 城下3-3 (小崎葛布工芸(株)と鎧屋の間)
- 3 主 催 NPO法人かけがわランド・バンク
- 4 内 容
 - (1) オープニングセレモニー
 - ① 挨拶
 - ② 施設説明
 - ③ 来賓紹介・挨拶
 - ④ テープカット
 - (2) 内覧会
宿泊施設の説明をさせていただきます。
- 5 駐 車 場 ・ 無 (場所) 掛川市大手門駐車場をご利用ください。
※当日現地にて駐車券をお渡しします。
- 6 資料の添付 有 ・ (資料名)

■本件に関する担当者

広報・シティプロモーション課

シティプロモーション・移住促進係 水谷 (電話 0537-21-1209)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

掛川市記者会見 資料3-4

7月下旬から「シュート! Goal to the Future」
舞台めぐりデジタルスタンプラリーが始まります。

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

掛川市が舞台となって描かれている「シュート! Goal to the Future」のアニメ放映がいよいよ今月よりスタートしたことから、同アニメとコラボレーションし、7月下旬から半年間「シュート! Goal to the Future 舞台めぐりデジタルスタンプラリー」を開催します。

スポットにはアニメに登場する場所や市内観光地が設定され、スマートフォンを片手に市内をめぐり、キャラクターとのAR写真撮影や声優によるキャラクターボイスを聞くことができます。

【シュート! Goal to the Future 舞台めぐりデジタルスタンプラリー情報】

- (1) 開催期間：令和4年7月27日（予定）～（半年間）
- (2) スポット：掛川城二の丸御殿、すいのや、かっぱしテラス、東山いっぷく処、キウイフルーツカントリーJapan、潮騒橋、横須賀城跡
- (3) 参加形態：スマートフォン、タブレット
- (4) アプリ：舞台めぐり（Sony Music Solutions）
- (5) 参加声優：小林千晃、小野友樹、土岐隼一、梅原裕一郎
- (6) コンプリート賞品：ステッカー、缶バッジ（先着限定）

【アニメの放映化を記念し、各社でコラボグッズを制作中】

各種アニメグッズについては随時、製作委員会ツイッターで告知予定です。
（発売予定）缶バッジ、アクリルスタンド 等

【小野伸二選手により久保嘉晴の「伝説の11人抜き」スペシャルPVが完成】

本作でサッカー技術協力として参加している元サッカー日本代表の小野伸二選手による【伝説の11人抜き】スペシャルPVが完成しました。
YouTube URL <https://youtu.be/oH6oD6ZQ6gg>（限定公開）

【KONAMI のモバイルゲーム eFootball™ウイコレ CHAMPION SQUADS のコラボが開催決定】

アニメ「シュート！Goal to the Future」と原作漫画「シュート！」のキャラクターが、7月7日からゲーム内に登場しています。

<https://shoot-anime.com/news/detail.php?id=15>



■本件に関する担当者

広報・シティプロモーション課 シティプロモーション・移住促進係 水谷・三枝
(電話 0537-21-1209)

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★

掛川市記者会見 資料3-5

新たなチャレンジ「かけがわチャ（茶）レンジ号」 ～自動運転車両の実証事業開始に伴う出発式の開催について～

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・**珍しい****【目的・概要】**

掛川市は、これからの持続可能な移動交通を目指し、新たな移動手段として先端技術を活用した自動運転車両の活用を検討しています。

このたび、実証実験を行うにあたり、下記のとおり自動運転車両の出発式を開催します。

【アピールポイント】

- ・掛川市初の自動運転実証であり、自動運転車両のお披露目と出発式を行います。
- ・車両の監視を行う遠隔コントロールセンターを掛川市役所3階テラスに設置・開設します。

- | | | |
|---|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | と き | 令和4年8月1日（月）午後4時00分から |
| 2 | と ころ | 三の丸広場 |
| 3 | 主 催 | 静岡県交通基盤部・掛川市 |
| 4 | 参 加 者 | 掛川市長、静岡県、実証実験関係者等 |
| 5 | 内 容 | 出発式終了後、市長等関係者が乗車し、運行します。
また、自動運転車両の試乗と並行し、遠隔コントロールセンターの運用を開始します。
掛川市役所3階テラスに設置予定の遠隔コントロールセンター公開も予定しております。（詳細が決まり次第、ご連絡します） |
| 6 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 （場所）大日本報徳社 |
| 7 | 資料の添付 | 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> （資料名） |

■本件に関する担当者

DX推進課DX推進室デジタル支援係 戸塚・縣（電話 0537-21-1208）